



いろいろな秋の特集！！



食欲の秋♪



天気が涼しくなるのにもなあって、秋も深まってきました。秋は「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」などとよく聞きますね。今回私たちは「食欲の秋」を紹介させていただきます。

日本には春夏秋冬、美しい四季があり、食べ物にもそれぞれの旬があります。秋の味覚である米、いも、栗などはでんぷんが多くエネルギー源になります。

冬の寒さに備えてしっかり食べてエネルギーを蓄えましょう」といわれています。



また、さんまは必ず食べますね。丸々と太ったさんまはおいしいですね。鮭やマツタケもおいしいし、ほかに銀杏、柿、りんご、なしなどもおいしいですね。皆さんも食欲の秋を感じてくださいね。

(MJS 唐 永晶、MJS 馬 清)

読書の秋



「告白」(湊かなえ 作)という本が去年から大ブームになっている。そして、松たか子が主演する同名の映画でも大人気になった。

一体「告白」はどんな小説だろう。

女教師・森口悠子の3歳の一人娘愛美が、森口の勤務する中学校のプールで溺死体にて発見された。数ヵ月後、森口は終業式後のホームルームにて「私の娘はこの1年B組の生徒二人に殺されたのです」と衝撃の告白をし、ある方法にてその二人の生徒に復讐する。

怖かった！読み終えた瞬間寒気がした。誰もが許しがたい罪を犯し、その負の連鎖で人が何人も死んでいく。「負」の面をこれだけ描き出しながら、「死」が軽く扱われている気がしてそれがやるせなかった。

「告白」は面白かった本なので、絶対読んでみてください！

(M551 芳草)



秋のおすすめドラマ☆

ギルティ

～悪魔と契約した女～

新しい季節を迎えて新しいドラマが始まった。純愛、社会派、学園もの、ミステリーなどいろいろなジャンルのドラマが視聴者の興味を集めていた。20編以上のドラマの中でオススメしたいのはフジテレビ火曜10時からのドラマ「ギルティ～悪魔と契約した女」だ。

ドラマは15年前に起きた殺人事件で無実の罪を着せられた女が、13年間刑務所で服役したあとで、自分に犯人のぬれぎぬを着せた人たちに次々復讐して行くミステリー。その女を追う男の刑事は彼女が危険だとわかってもどんどん彼女に引かれて行く。

主人公・野上芽衣子を演じるのは菅野美穂、彼女を追う刑事真島拓朗の役は玉木宏が演じる。真島の元恋人の役は吉瀬美智子が演じる。菅野美穂は11年ぶりの悪役を演じてドラマのOA前から世間の関心を集めた。

15年前の事件と復讐のミステリーありラブストーリーありのドラマ「ギルティ～悪魔と契約した女」。ちょっと重くて深いストーリーが好きな人ならぜひ見たほうがいいだろう。

(A32 李 ガユン)



芸術の秋

音楽交流会 “海を越えた友情 再び”

9月14日、駐日韓国大使館韓国文化院(ハンマダンホール)では“海を越えた友情 再び”をテーマに日韓学生音楽交流会2010が行われた。この演奏会は音楽で有名な韓国の明知専門大学と日本の尚美学園大学、両国の学生たちと教授による合同演奏など音楽交流を目的としている。交流演奏会は尚美学園大学と明知専門大学が2005年9月に姉妹校締結以来、これまで韓国で2回(2006年、2009年)日本で1回(2007年)にして3回にわたり、今回が4回目の開催となるという。

プログラムは1部(Classic)、2部(Jazz&Pops)、3部(合同演奏)に構成されていて、色々なジャンルを聴けるようになっていた。



第1部のクラシックは尚美学園大学のオーケストラの雄大なサウンドに魅了されるほど立派な演奏だった。また、韓国のアリランという曲も色々な楽器の台奏が美しかった。特に、きれいな女の子が多くてさらに集中できたような…。

第2部では私が好きなジャズとポップスで、クラシックの1部より雰囲気が盛り上がった。少し早いスピードで迫力いっぱいのドラムと甘美な旋律のピアノ、そして観衆を魅了させるサクソフォンなど興奮に耐えなかった

第3部は韓国の教授と日本の学生、日本の教授と韓国の学生、韓日・日韓学生たち同士による合同演奏で、前の部にもまして盛り上がり行った。最後には座っていられなくなって、舞台にいた学生が上がりこいという合図を送るなり、学生たちと教授は全員舞台上に上がり行って一緒におどったり、歌を歌ったりした。それを見てテーマのとおり、海を越えた友情だと思った。

音楽会は日本でははじめて見に行ったので、とても楽しかった。KCPの学生で見に行った人は5人だけだった。学生だけど学校を代表する実力で上手だし、学校からも近いので、今度見に行ったらどうか。

(MJ2 張仁鮮)



10月期入学式・報告

10月8日にKCP地球市民の8階では新学学期の入学式が行われた。理事長の挨拶はもちろんのこと、校長先生や先生の紹介や先輩の歓迎のあいさつなど順調に進んだ。今回の入学式では特別に、特別講座も紹介する時間があった。新聞部を含めて六つの特別講座に参加している学生たちが、講座で使われる楽器を演奏したり歌を歌ったりして広報に夢中だった。

午前、午後の2回の入学式は盛況裏に終わった。
(MJ2 張仁鮮)



特別講座インタビュー！！

漫画アニメ研究会

薛元さんにインタビュー

Q:どんな漫画が好きですか。

A:かわいい女の子が出てくるアニメが好きです。

Q:どうして日本のアニメが好きですか。

A:絵の技術がすばらしいからです。

Q:自分でもアニメを作りますか。

A:少し作ります。

Q:日本語学校を卒業したらアニメを専門に勉強しますか。

A:将来、アニメの専門学校へ入りたいです。

(A112 陳 剛)



高雷さんにインタビュー

Q:高雷さんはどのような漫画とアニメが好きなんですか。

A:好きなのは銀魂、けいおん！東方というアニメです。

Q:皆と今何をしていますか。

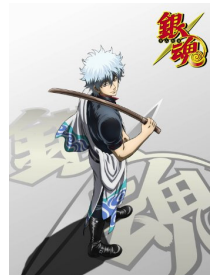
A:自分が好きな漫画とアニメの種類を討論しているところです。

Q:どういうところが面白いですか。

A:子供のときから見ていた漫画とアニメをお互いに紹介することがおもしろいです。なつかしいですね。

Q:そうですね。どうもありがとうございました。

(MJ2 馬 永寿)



ビーズクラブ



毎週金曜日に地球市民の303号室のドアを開けて入ると、きれいで親切な二人の先生が、何かを作っている学生を手伝って、忙しく行ったり来たりする様子が見られる。彼らが作っているものは小さなビーズで作るネックレスやピアスや腕輪や携帯の飾りなどのアクセサリだという。いわゆるビーズクラブだ。

好きな人にプレゼントをあげるために初めて参加したりオ(A35)さんは「難しいけど先生が親切に詳しく教えてくれるから、簡単に作れるようになった」という。

自分と恋人が使う二つの腕輪を作っている彼は一つ当たり400円で作れるから、買うより安いという。また、彼氏に特別なプレゼントをあげたいと思って参加したキムジンジュ(A32)さんはペアの携帯のストラップを作っているという。



先学期から参加したゲンヴァンバー(M32)さんは男の人が参加するのは珍しいという意見について、「彼女のためなら全然かまわない」というかっこよすぎるコメントをくれた。実際にピアスを作ってあげたと誇らしく言っていた。「友達が作ったものがかわかったし、来学期が最後だから一回ぐらいはぜひ参加したかった」と思ったキムミジ(MJ1)さんはうまくできるかどうか心配しながら、ブレスレットを作っていた。「自分で堅い金属を切るから、作るのに手が痛いけど楽しい」という。彼女は誰かにプレゼントをするほど余裕がないし、自分が一番重要だからプレゼントしないという思いがけない面白い答えを言っていた。

人ともによって違うが、学期中に3つぐらいは作れると言う戸沢先生は、今まで作った物の中で猫が一番記憶に残っているという。

作ることが好きで、好きな人のために、など理由は違うけどみんな一生懸命作っていた。では、好きな人のために、好きなことのために、直接自分の心をビーズに込めて作ってみよう。

(MJ2 張仁鮮、M31 金・ミス、A32 李・ガユン)

